

行政の窓

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査（令和5年6月実施分）

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場（調査対象工場数：94）
2. 調査実施時期 令和5年6月
3. 調査の内容 （原料在庫状況）前年同時期と比べた認識について選択式（「多い」「少ない」「変わらない」）により調査
（製品の荷動き）前年同時期と比べた認識について選択式（「良い」「悪い」「変わらない」）により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[（回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率（％））－（回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率（％））]
（最大値100／最小値－100）

5. 調査結果（回答工場数：90社／回答率：95.7％）

【①原料在庫状況（トドマツ）】

企業判断指数 **（太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し）**

調査時点	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
R4.9	-8	<i>-12</i>	<i>-24</i>	-	-	-
R4.12	-	-2	<i>-5</i>	<i>-14</i>	-	-
R5.3	-	-	7	<i>0</i>	<i>-10</i>	-
R5.6	-	-	-	26	<i>27</i>	<i>23</i>

（概況）

原木在庫は前年を上回る状況。入荷見通しに不安感無いが、製品需要減少により在庫過多との声が多い。

（回答企業の主なコメント）

例年より多く単価下がり傾向/売れ行き悪い/製品需要の低迷により在庫過剰な状態のため、受入量減らし在庫調整。今後も続く見通し/仕入価格は若干下降気味/在庫が過去最高に達したため7月から入荷停止

原木在庫量（「林産工場動態調査」より）※月平均 **（m³）**

	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
当年	178,153	181,049	217,460	-	-	-
（前年）	147,619	135,152	159,675	175,044	178,153	181,049
対前年比	121%	134%	136%	-	-	-

【②製品の荷動き（トドマツ）】

企業判断指数 **（太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し）**

調査時点	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
R4.9	-10	<i>-35</i>	<i>-42</i>	-	-	-
R4.12	-	-47	<i>-66</i>	<i>-63</i>	-	-
R5.3	-	-	-67	<i>-67</i>	<i>-51</i>	-
R5.6	-	-	-	-88	<i>-81</i>	<i>-58</i>

（概況）

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。輸入材や住宅着工減少の影響で荷動き悪く、先が読めない厳しい状況との声も多い。

（回答企業の主なコメント）

住宅着工減少により荷動き悪い/輸入製品の値下がりの影響もあり道産品も徐々に単価下落始まってきている/受注状況悪くラミナ値下がりしている/梱包材輸出停滞により減少傾向続き今後の見通したたず

原木消費量（「林産工場動態調査」より） **（m³）**

	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
当年	239,699	231,299	202,432	-	-	-
（前年）	231,202	249,280	209,572	239,236	239,699	231,299
対前年比	104%	93%	97%	-	-	-

【③原料在庫状況（カラマツ）】

企業判断指数 **（太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し）**

調査時点	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
R4.9	-52	<i>-54</i>	<i>-56</i>	-	-	-
R4.12	-	-41	<i>-33</i>	<i>-31</i>	-	-
R5.3	-	-	-8	<i>-17</i>	<i>-25</i>	-
R5.6	-	-	-	27	<i>25</i>	<i>10</i>

（概況）

原木在庫は増加の傾向。製品需要の低迷や合板需要の減少により、在庫過多との声が多い。

（回答企業の主なコメント）

合板材動き悪く原木の入荷増加/仕入価格若干下降気味/製品需要の低迷により在庫過剰な状態のため受入量減らし在庫調整。今後も続く見通し/梱包、パレットの荷動き悪く在庫量増加/受注量減少のため生産調整

原木在庫量（「林産工場動態調査」より）※月平均 **（m³）**

	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
当年	153,818	144,911	195,976	-	-	-
（前年）	175,588	132,958	148,710	155,564	153,818	144,911
対前年比	88%	109%	132%	-	-	-

【④製品の荷動き（カラマツ）】

企業判断指数 **（太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し）**

調査時点	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
R4.9	21	<i>2</i>	<i>-17</i>	-	-	-
R4.12	-	-27	<i>-49</i>	<i>-45</i>	-	-
R5.3	-	-	-76	<i>-73</i>	<i>-53</i>	-
R5.6	-	-	-	-90	<i>-86</i>	<i>-50</i>

（概況）

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。梱包材・パレットとも荷動き悪く、製品価格の低下を指摘する声も。

（回答企業の主なコメント）

製品価格の値下がりが続いている/ラミナ値下がりしている/梱包材輸出停滞により減少傾向続き、今後の見通したたず/製品需要は下降線を辿っており回復の兆しは見えず

原木消費量（「林産工場動態調査」より） **（m³）**

	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12
当年	211,953	204,892	181,861	-	-	-
（前年）	253,074	227,049	212,331	220,015	211,953	204,892
対前年比	84%	90%	86%	-	-	-

（水産林務部林務局林業木材課林業金融係）